

次期公共交通検討に係る今後の論点整理

【共 通】

○運行車両について

- ・循環バス、デマンドそれぞれ導入する車両の形態、大きさ、台数

○運行時間帯の拡大について（朝・夕）

○運賃設定について

- ・地域別に異なる運行形態を採用する（中央＝循環バス、東・西＝デマンド）にあたっての運賃の考え方（それぞれの運賃額をどうするか、地区を超える場合や乗り継ぎが生じる場合の運賃額の考え方（割増、割引）等）

○乗り継ぎの効率化、便利な乗り継ぎの実現について

- ・シームレスな乗り継ぎや、待ち時間をより快適に過ごせるための方策検討

○学バス、社バス等多様な輸送資源の活用検討

○キャッシュレス決済の導入について

○市の公共交通に係る財政負担について

- ・市が公共交通にかけられる予算は限定的であり、その中で運行内容を検討する。
- ・既存車両の活用や、学校統廃合に伴い導入が検討されているスクールバス車両の併用（間合運行）

○フィーダー補助金の活用継続について

【中央地域】

○中央コースの利用者増について

- ・利用者をさらに増やすための運行方法検討（双方向運行、時間、ルート、停留所等）

○新たな目的地の追加とルート設定および運行時間について

- ・停留所の新設（杉戸高野台駅、権現堂公園、日本保健医療大学等）、廃止

- ・西地域との乗り継ぎ拠点
- ・1循環あたりの運行時間の適正化（約60分）

【東 地 域】

○デマンド目的地の設定について（主要施設の考え方）

【西 地 域】

○デマンド目的地の設定について（主要施設の考え方）

○中央コースとの乗り継ぎ拠点について

- ・例：各公民館（北・西・南）を中央コース化、サイクル&バスライド活用

○東鷲宮駅への乗り入れ方法（乗合型デマンドタクシーの処遇）について

【その他】

○自動運転グリス口導入検討